

革新炉に係る経済産業省の取り組み（公募型研究制度）について

平成 14 年 1 月 10 日

経 済 産 業 省

当省において、平成 12 年度より実施している革新的実用原子力技術開発制度が、将来の原子力技術の選択肢を多様化することにより革新炉の研究にも寄与することが期待される。

革新的実用原子力技術開発制度の概要

1. 制度の目的

エネルギーセキュリティの確保、地球環境問題への対応等から、原子力発電及び核燃料サイクルの推進が必要である一方、電力自由化等に伴い、原子力分野において安全性を大前提とした経済性の向上が強く求められている。

本制度は、こうした情勢に鑑み、原子力に係る安全性・経済性を追求する革新的・独創的な技術を発掘し、さらに、競争環境下での技術開発を促進する観点から、原子力発電及び核燃料サイクルの安全性・経済性を向上させるための技術開発テーマを公募により募集し、提案のあった技術開発テーマのうち本制度の趣旨に合致するテーマを採択し支援を行う。

2. 制度の概要

（1）予算総額：

平成 14 年度予定額 24.3 億円（平成 13 年度予算額 16.0 億円）

（2）創設年度：平成 12 年度

（3）研究対象テーマ

原子力発電、ウラン濃縮、再処理、放射性廃棄物処分等において、安全性・経済性向上に寄与する革新的・独創的な技術開発テーマについて支援を行う。

（4）採択事業規模

- ・ 1 テーマ当たりの金額：約 1 億円程度
- ・ 1 テーマ当たりの開発期間：原則として 3 年以内

（5）採択件数実績（参考資料参照）

- ・ 平成 13 年度採択件数：18 件（新規 8 件、継続 10 件）
- ・ 平成 12 年度採択件数：10 件

（6）スキーム

大学、研究機関、企業等により行われる研究開発テーマについて、財団法人エネルギー総合工学研究所が広く公募を行い、有望な研究開発課題を選定し、研究を行う。

